



農家のための土と肥料の研究会「全国土の会」



# 第34回全国土の会愛知大会

2023年11月 14日・15日



主催：全国土の会・中日本土の会  
後援：東京農業大学

写真で見る「全国土の会この一年」

## 「第 34 回全国土の会愛知大会」の開催にあたって

平成元年 10 月、静岡県榛原町(現在、牧之原市)に集結した約 30 名で「全国土の会」を立ち上げました。「全国土の会」とは「農家のための土と肥料の研究会」です。その「全国土の会」が、早いもので今年 10 月で 36 年目を迎えます。立ち上げ以来毎年秋に全国各地で全国大会を開催してきましたので、本来であれば今回が 35 回目の全国大会になるはずでしたが、2021 年度はコロナウイルス感染拡大のため、全国大会の開催を断念せざるを得ませんでした。昨年度は東京農大横井講堂での対面とオンラインによるハイブリッド大会となりました。オンライン形式では、遠隔地の方も容易に参加できる利点はありますが、リアル感がありません。また、オンラインでは情報交換会に参加できません。そこで、今回からは従来通りの全国大会に戻しました。情報交換会も現地研修会も完全復活です。

さて、今年は夏の猛暑と雨不足が農業生産に大きな影響をおよぼしました。また、一昨年秋以降の肥料価格高騰にも悩まされました。その肥料価格ですが、来年春肥では値下げ傾向にあるようですが、品目によっては今後も高値が続く模様です。国は今回の肥料価格高騰対策として令和 4 年度の補正予算で「肥料価格高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者への肥料費支援」として、化学肥料低減に向けた取組に 2 つ以上取り組むことが条件で、その第一の取組に「土壌診断による施肥設計」を掲げました。その影響で全国の土壌診断室では分析依頼が急増してパニック状態に至ったところも多かったようです。ある JA の土壌診断室では通常の分析には応じきれないため、農大式簡易土壌診断キット「みどりくん」を会員に無料配付したような事例もありまして、この 1 年間で「みどりくん」の国内出荷数が約 7,000 本にも及びました。ご承知の方も多いと思いますが、「みどりくん」はハウス土壌のような養分過多土壌を対象に開発したキットで、水田では pH しか測定できません。国の事業では、土壌診断に基づいた施肥設計を立て化学肥料を低減すれば支援するというのですが、土壌診断をすれば支援金支給が実態です。土壌診断は支援金目的の道具ではありません。土壌診断と化学肥料低減を結びつける国のやり方は全く気に入りません。

また、肥料高騰対策として国は、家畜排せつ物・下水汚泥・生ごみなどのバイオマス資源の肥料利用を推し進めようとしています。それ自体はよいことですが、あまりにも遅すぎます。「全国土の会」では、平成元年の立ち上げ以来一貫して土壌診断に基づいた施肥管理と肥料自給率向上を目指してきました。具体的には、家畜糞堆肥や汚泥肥料、生ごみ肥料の活用です。家畜糞堆肥はリン酸・カリ肥料として有効ですが、完熟するほど窒素が効きません。また、汚泥肥料にはカリがほとんど含まれていません。すなわち、バイオマス資源を肥料利用すればするほど、窒素やカリ肥料単肥すなわち化学肥料とのドッキングが必要になるのです。

今回の全国大会では、メインテーマを「国産肥料資源の活用」としました。特別講演では家畜糞堆肥の肥料利用で著名な岐阜県農業技術センターの棚橋寿彦先生にお願いしました。また、その後の特別企画として全国土の会法人会員で国産肥料資源を原料とする肥料メーカー 5 社からの情報提供をお願いすることにしました。

それでは、2 日間の「第 34 回全国土の会愛知大会」が皆様にとって有意義な大会となりますように、ご協力をよろしくお願い致します。

2023 年 11 月 14 日

全国土の会 会長

東京農業大学 名誉教授

後藤 逸男



## 「第34回全国土の会愛知大会」開催次第

1. 日時：2023年11月14日(火)13時より15日(水)12時
2. 会場：愛知県知多郡東浦町 健康の森プラザホテル プラザホール  
アクセス：<https://www.aichi-kenko-plaza.com/access.html>
3. 主催：全国土の会・中日本土の会  
事務局：東京農大発(株)全国土の会(大会期間中の電話：090-5551-6663)

### 4. 日程

11月14日(水) 受付：12時00分より

13時00分：開会セレモニー

	司会 中日本土の会	藤原 幹紹
	開会の辞 中日本土の会	鈴木 善仁
主催者挨拶	全国土の会会長 東京農業大学 名誉教授	後藤 逸男
	中日本土の会 会長	櫻井 吉美
参加者代表祝辞	全国野菜園芸技術研究会(全野研)会長	渋谷 忠宏

13時15分：基調講演 「今こそ、国産肥料の出番だ！」

東京農業大学 名誉教授 全国土の会会長 後藤 逸男

14時45分～15時15分：休憩(賛助会員によるブース展示)

15時15分：特別講演 「肥料価格高騰、今こそ堆肥の活用を」

岐阜県農業技術研究センター  
土壌化学部 部長 棚橋 寿彦

16時15分：特別企画 「全国土の会」会員による国産肥料資源活用実践

(1) 畜糞肥料の概念を変える乾燥鶏糞ペレット	(株)クレスト
(2) 赤城山麓でつくる特殊肥料と汚泥肥料(堆肥化)	太陽農産(株)
(3) 「食品残さ加工肥料」登録第1号 乾燥生ごみ肥料	大村商事(株)
(4) 生ごみ堆肥 日本一の生ごみ堆肥化プラント	(株)ケミカルフォース
(5) 国産最多のリサイクル無機質肥料資源 転炉スラグ	アサヒミネラル工業(株)
(6) 「国内肥料資源活用総合支援事業」について	(一社)全国肥料商連合会

17時15分：事務連絡 次回の「第35回全国土の会全国大会」開催について、その他

閉会の辞 中日本土の会 松岡 明廣

17時30分：閉 会

18時00分：情報交換会 会場：健康の森プラザホテル レストラン花の木  
司会 中日本土の会 倉岡三千代  
主催者挨拶 全国土の会 副会長 加藤 浩

乾 杯

中締め

20時00分：情報交換会閉会

### 11月15日(水) 現地研修会

8時00分：健康の森プラザホテル玄関前 集合

8時30分：出発

9時00分：愛知県大府市の露地野菜畑の視察と土壌診断調査のデモンストレーション

10時00分：JA アグリタウンげんきの郷で休憩と見学

11時00分：衣浦西部浄化センター見学

見学終了後、2グループに分かれて帰路。12時30分～13時前後に解散

第1グループ：中部国際空港行き

第2グループ：JR 大府駅行き

注：上記の設定時間は目安ですので、十分な時間的ゆとりを取って下さい。